



発行日 2022. 2. 1

発行者 山路 雄彦

発行所 一般社団法人

群馬県理学療法士協会事務局

群馬県前橋市大渡町 1-10-7

群馬県公社総合ビル 6F

源流題字 浅香 満

編集責任者 榊原 清

源流

No. 149

Contents

■理学療法アラカルト「理学療法の練習量は足りていますか」 富田洋介	・・・ 02
■理学療法士が知っておきたい社会保障制度 ワークライフバランス部	・・・ 03
■地域包括ケアシステムって何ですか？ 篠崎有陸	・・・ 04
■新人さん必見！新生涯学習制度 生涯学習部	・・・ 05-06
■書籍紹介「無刀流整形外科メスのいらない運動器治療」塩田麻人	・・・ 07
■職場紹介「医療法人原会 原病院 有料老人ホームつむぎ」齋藤豊成	・・・ 08
■後輩理学療法士へ 清水葵	・・・ 09
■令和3年度地域リハビリ推進部研究会 開催	・・・ 10
■令和3年度介護保険部主催研修会 開催	
■第5回北毛ブロック施設間連絡会 開催	・・・ 11
■第30回群馬県神経系理学療法研究会 開催	
■第13回群馬県内部障害系理学療法研究会 開催	
■会員動向	
■ニュース收受	
■編集後記	・・・ 12

理学療法アラカルト

理学療法での練習「量」は足りていますか？

高崎健康福祉大学 保健医療学部

理学療法学科 富田 洋介



皆さんは、現在担当されているクライアントの1日の活動量はどの程度か、把握していますか？例えば、脳卒中発症後2か月時点で目標とすべき1日の歩数はどの程度なのでしょう。

Handleryら(2021)による206名の脳卒中患者を対象とした前向き研究では、発症後2か月時点での①歩数と②バランス機能(Berg balance scale)が脳卒中患者の発症1年後の1日の歩数に関連していることが明らかになっています。同じ報告の中で著者は、「発症後2か月時点で1632歩/日以上を目標とすべきである」と提言しています。またLangら(2009)による脳卒中患者に対する理学・作業療法の観察研究では、各セッションにおける上肢運動の平均反復回数は32回、平均歩数は357歩でした。健常者を対象に運動学習を行う研究では、数百～数千回の反復を要する場合がほとんどですので、上記では運動学習という観点からすると明らかに反復回数が不足していることが分かります。また心肺フィットネスに対する改善効果もまず期待することができません。

近年、ウェアラブル端末の発展によって脈拍数、血圧、歩数、位置情報など様々な生体情報が簡単に長時間継続して測定することが可能となりました。その恩恵はリハビリテーション分野にも急速に広がり、治療場面や病棟・地域社会での生活における身体活動量・歩数・活動範囲といった、生活状況の客観的データが容易に測定することが可能となっています。しかしこれらの機器を病院で購入し、データを解析するには予算も担い手も不足しているのがほとんどだと思います。したがって妥当性や精度に限界はありますが、まずは歩数計や市販の活動量計を用いることが現実的な手段となります。

では限られた練習時間でその「量」はどのように確保したらよいのでしょうか。皆さんはHigh Intensity Interval Training (HIIT；高強度インターバルトレーニング)をご存じでしょうか。その定義は様々ですが、一般的には(最大酸素摂取量を超える)高強度の運動を20秒以上実施し、その後不完全回復(低・中強度の短時間休息)を挟みながら3～10セット行うというものです。高強度で運動を実施するため、トレーニングの合計時間は4～30分程度です。心疾患や脳卒中患者、がん患者等を対象にHIITを実施した研究が近年多数報告されており、その適応・禁忌や効果の確立が待たれます。

練習の効果を最大化するために、またクライアントの長期予後を改善するために理学療法での練習「量」を再考してみませんか？

引用文献

• Handlery R, Regan EW, Stewart JC, Pellegrini C, Monroe C, Hainline G, Handlery K, Fritz SL. Predictors of Daily Steps at 1-Year Poststroke: A Secondary Analysis of a Randomized Controlled Trial. Stroke. 2021;52(5):1768-1777.

• Lang CE, Macdonald JR, Reisman DS, Boyd L, Jacobson Kimberley T, Schindler-Ivens SM, Hornby TG, Ross SA, Scheets PL. Observation of amounts of movement practice provided during stroke rehabilitation. Arch Phys Med Rehabil. 2009;90(10):1692-8.

理学療法士が知っておきたい社会保障制度

「育児休暇あけ、苦勞したこと」

ワークライフバランス部 松井 歩美

「あれ、私の賞与、社会保険料免除されてない！？」発見したのは育児休暇から復帰して1年がたった頃でした。先輩ママから聞いていた賞与でも免除されるはずの社会保険料。実際に自分の給料明細を確認してみると、免除されていませんでした。

当時、育児制度の周知や取得の確認することが義務化されておらず、私もなにがなんだか分からないうちに産前産後休暇、育児休暇に入りました。子供が生まれたらどんな手続きが必要なのか、どんなものが給付、免除されるのか分からず、会社側に問い合わせをしても的を得た回答が得られないこともあり、自分で確認しようと、厚生労働省のホームページを見ても見慣れない言葉がずらり。初めてのことで疲弊していた私は、確認を怠っていました。これでいいのだろうかと育児休暇を開け、先輩ママより「育児休暇中の賞与も社会保険料が免除されるよ」とのこと。そこで改めて自分でも調べたところ、社会保険料はやはり免除されるとのことでした。制度を知らないだけで経済的にも負担が大きくなってしまったということが分かりました。

現在、多くの病院・施設では出産や育児に関する制度が整備され、担当部署の方が手続きを進めてくださっていると思います。しかし、やはり自分でもしっかりと育児制度を知っておく必要があると感じました。それと同時にもっと簡易的にわかりやすく育児制度について広めていく必要があると感じました。調べていくと、自分から会社に申し出ることで、時短勤務でも子供が3歳になるまで社会保険料の負担は免除されても、年金額は産休前の収入を基に計算してくれる制度もありました。私はこのワークライフバランス部での活動を通し、男性にも女性にも育児制度についてまずは興味をもってもらえたらと思っています。

2022年秋からは男性版産休が新設されるため、男性もより多くの方が制度を利用すると思います。すべての制度を理解することは難しいとはおもいますが、育児をしない方も興味を持っていただき、産前産後休暇の知識や育児休暇を取りやすい環境づくりをしていく必要があると思います。

ワークライフバランス部 gptworklife@gmail.com

地域包括ケアシステムって何ですか？

利根・沼田地区の地域包括ケアシステムの取り組み

内田病院 篠崎 有陸

（利根沼田地域リハビリテーション

広域支援センターうちだ）

利根沼田地域ではリハビリテーション専門職（以下、リハ職）がまだ少人数であった 1995 年（平成 7 年）に利根沼田リハビリテーション研究会が設立され、リハ職の連携や有志での学びの場の提供、顔の見える関係作りが行われてきました。2021 年 9 月現在では、リハ職の人数が 323 人、そのうち理学療法士が 221 名であり、地域ケア会議推進リーダーが 71 名、介護予防推進リーダーが 64 名、フレイル対策推進マネジャーが 27 名と資格取得にも力を入れてもらっています。広域支援センターうちだでは圏域内の地域リハビリテーション支援施設 8 か所にリハ職の所属人数や有資格者の人数、次年度の事業協力に関する情報等を提供してもらい、市町村に情報提供することで、介護予防事業の実施や地域ケア個別会議への出席など各病院・施設と市町村の連携を支援しています。

利根沼田地域では住民主導型介護予防事業「鬼石モデル」で用いられている運動プログラム「高齢者の暮らしを拓げる 10 の筋力トレーニング」を福者ソング体操として行っています。広域支援センターうちだの取り組みとして、福者ソング体操の DVD を作成し、監修いただいた東京都立大学の浅川康吉教授に研修を行ってもらい、トレーニングのポイントや住民主体の教室運営のポイントを教えてもらいました。研修の対象者はリハ職だけでなく、専門職の方や興味がある学生の方も含めて募集を行いました。実際には行政の関係者や施設の職員などの参加がありました。新型コロナウイルス感染症による自粛や外出制限によるフレイルの進行に対して、地域に住む専門職の方々とともに体操を広めることでフレイル予防や改善につなげる取り組みを行っていきたいです。また、フレイル予防イベントの開催や通いの場の再開・継続のための支援など地域住民の方との交流の機会を増やしていくことで、広域支援センターうちだに求められているものが何かを探っていきたいです。

群馬県以外の県支援センターや広域支援センターの取り組みを聞く機会があり、小児リハビリテーションや障害を持つ方の就労支援に力を入れていたり、災害発生時に連携がとれるように日頃から顔の見える関係づくりを行っているとの話を聞き、広域支援センターに求められていることは幅広いことを実感しています。取り組みがまだまだ足りないことを自覚しつつ、地域で求められていることは何かを探り、先駆的に取り組みを行っているところから情報をいただいたり、仕組みを取り入れたりしながら、地域で暮らす皆様がいきいきと生活できるよう支援を続けていきたいです。

新人さん必見！新生涯学習制度について

第4回 登録理学療法士の更新

生涯学習部 部長 萩原 晃

これまで第1回では新生涯学習制度の概要、第2回では前期研修、第3回では後期研修について説明させていただきました。第4回の今回は登録理学療法士の更新について説明させていただきます。

1. 登録理学療法士の更新

生涯学習の土台は「登録理学療法士」を取得し『更新』し続けることであり、継続的に自己学習・研修を行います。どのような環境であっても、「登録理学療法士」を更新し続けることができる仕組みです。

2. 登録理学療法士制度の構築にあたって

理学療法士の研修意欲をさらに啓発・高揚させること、一方で社会に対して理学療法士が幅広く総合的に研鑽を積んでいる実態を示し、国民からの信頼を増すことを目的としています。一般目標を「頻度の高い疾病と傷害に伴う障害、それらの予防、保健と福祉など、健康と人生にかかわる幅広い問題について、わが国の社会保障体制の中で、適切な対応と必要に応じた連携を全人的視点から提供できる理学療法士としての態度、知識、技能を身につける。」こととします。行動目標としてカリキュラムコードを作成し、このカリキュラムコードに則り、生涯学習を進めていきます。

※カリキュラムコード一覧は日本理学療法士協会マイページの会員向けコンテンツから確認ください。

3. 更新対象者

前期研修および後期研修を修了し、登録理学療法士を取得した者。

4. 有効期間および活動対象期間

登録理学療法士の有効期間：取得年度を含む5年間

登録理学療法士更新のための活動対象期間：登録理学療法士取得日～最終年度の12月末日まで

5. 更新の申請手続

活動対象期間内に更新要件をすべて満たすと自動的に更新完了となり、申請手続は不要です。

6. 更新要件の概要（図1）

更新1～5回目：【要件1】50ポイント取得、【要件2】更新時研修の受講

更新6回目以降：【要件1】10ポイント取得、【要件2】更新時研修の受講（任意）

7. 更新料

更新は無料ですが、更新時研修は受講費が2,000円（税抜）の予定です。

以前にもお伝えしましたが、新生涯学習制度への移行に切り、新人教育プログラムが未修了の場合は、入会年数や経験年数に関わらず前期研修からとなりますので、現制度にて2022年3月31日ま

でに新人教育プログラムを修了することをお勧めします。また、新人教育プログラムを修了されていても、経験年数や取得ポイント数、取得資格などにより登録理学療法士取得のために必要な履修内容が異なります。理学療法士協会の会員ページにご自身がどこに位置するのか確認する診断ツールがありますので活用して下さい。これまで説明した新生涯学習制度に関する内容は理学療法士協会マイページの会員専用コンテンツでも確認ができますのでよろしくお願いいたします。

<参考資料>

*新生涯学習制度についての詳細

【閲覧方法】「日本理学療法士協会マイページ」→「会員専用コンテンツ」→「新生涯学習制度」

【URL】<https://support.japanpt.or.jp/privilege/education/lifelonglearning/s10/>

*生涯学習制度に関する動画ページ

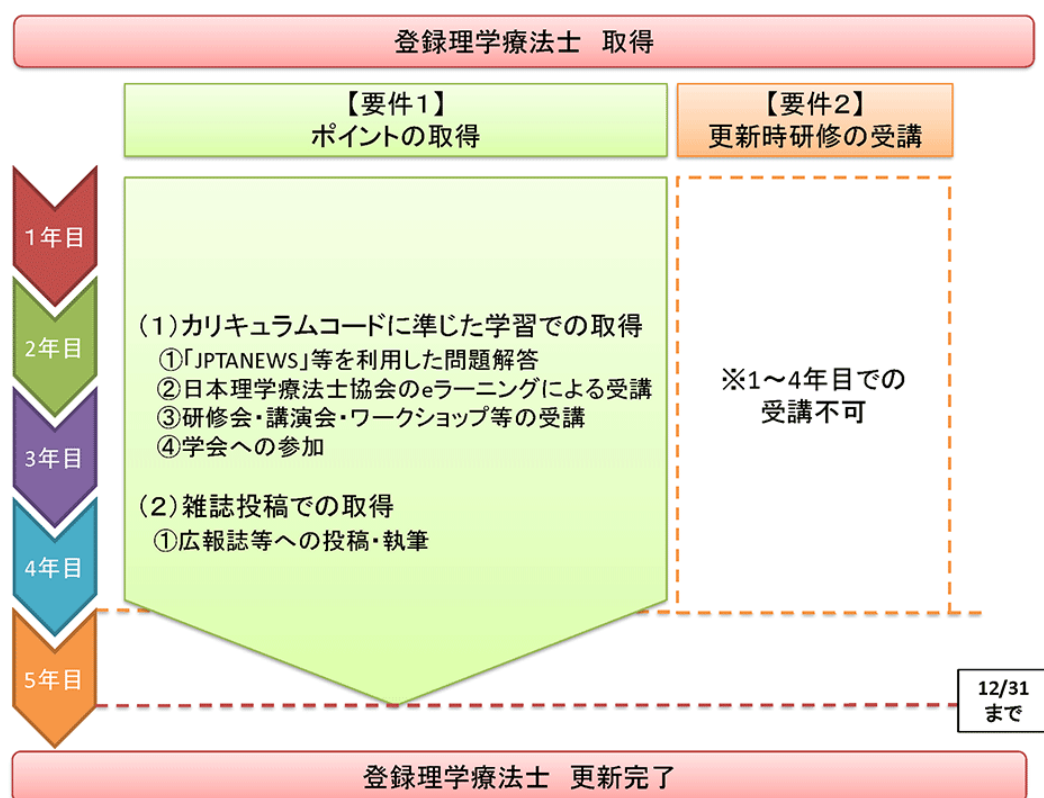
【閲覧方法】日本理学療法士協会ホームページ（オープンページにて公開[マイページログイン不要]）

【URL】http://www.japanpt.or.jp/about/enterprise/lifelonglearning/movie_list/

*生涯学習情報専用の Twitter

【アカウント情報】ユーザー名:@jpta_shougai

【URL】https://twitter.com/jpta_shougai



<図1. 登録理学療法士の更新イメージ>

※日本理学療法士協会会員ページ新生涯学習システムより引用

<問い合わせ先>

群馬県理学療法士協会生涯学習部部長 萩原晃（群馬大学医学部附属病院）

E-mail : m08204022@gunma-u.ac.jp

*****書籍紹介*****



「無刀流整形外科 メスのいらない運動器治療」

JCHO 群馬中央病院 塩田 麻人

総著者：柏口 新二
出版社：日本医事新報社
価格：7,400 円＋税



私は JCHO 群馬中央病院で勤務している理学療法士 5 年目の塩田麻人と申します。大学卒業後に上京し、昨年度まで都内の同系列(JCHO)病院で勤務していました。地元群馬県の地域医療に貢献したいと思い、今年度から当院で勤務させていただくことになりました。現職場においては、患者様に真摯に向き合い、情熱を持って働くセラピストが多く、良い刺激を受けています。私自身も患者様へより良い医療を提供できるように日々研鑽に励んでいるところです。

さて、今回紹介させていただく書籍は柏口新二先生の「無刀流整形外科メスのいらない運動器治療」です。私が臨床を行う上で参考にしている書籍の一つであり、必携書として活用しています。本書の執筆には、私が昨年度までお世話になっていた病院のリハビリテーション室士長をはじめとする理学療法士の方々も共同執筆者として携わっておられます。

「無刀流の整形外科」とは筆者らが目指す運動器治療のことであり、本書の中では「できるだけメスを使わず、的確な診断と最小限の侵襲での処置、そして運動療法で機能を回復させる」と説明しています。また本書の中で筆者は、運動器の根本治療においてボディ・メカニクスを調整することの重要性を述べています。ボディ・メカニクスの調整に関して技術的な部分で一翼を担っているのが我々理学療法士であり、理学療法士にはボディ・メカニクスの異常から起こる疼痛と機能障害を考え、真の問題点に対処していくことが求められています。

私自身、新人教育の中で先輩理学療法士から局所だけではなく、全体を見渡す視点を持つことも大切だと教わってきました。運動器疾患における疼痛治療では、まずは局所に目を向け、それと同時に真の問題点となっている場所にもアプローチしていくことを意識しています。また、患者様の主訴に原因が隠されていることが多いと思うので、患者様の言葉にしっかりと耳を傾け、訴えを聞き逃さないように診療を行うことを心がけています。

本書は運動器疾患を診る整形外科医だけではなく、運動療法に携わる我々理学療法士や柔道整復師、トレーナーなどにも向けられた内容が多く盛り込まれており、最新の運動器治療を学べる一冊となっています。ご興味のある先生方は是非お手にとってみて下さい。



職場紹介

医療法人原会 原病院 有料老人ホーム「つむぎ」

齋藤 豊成



当施設は医療法人原会が運営する介護付有料老人ホームで、令和2年4月、伊勢崎市境に開設しました。施設名の「つむぎ」は、利用者様同士・利用者様と職員の絆をつむぐことを理念として「つむぎ」と命名されています。

原病院の認知症治療専門病棟の3階が当施設になり、「医療と介護の新たなカタチ」をコンセプトとしており、利用者様が施設で生活する中で認知症の進行や精神状態が不安定になったとしても、併設病院において専門的な治療を受けることが出来ます。認知機能や精神状態が安定し施設へ戻り、引き続き安心して生活して頂く、という流れを整え、利用者様にいつまでも安心・安全で快適な暮らしを提供させて頂くことを目的として開設されました。

リハ室やリハ職員・事務職員の事務室等は無く、リハ・看護師・ケアマネ・相談員が終日、同一のフロアにいるため、お互いの仕事を理解しやすく、声を掛けやすい環境になっています。また常時、利用者様の生活空間に接しているため、日常を観察しやすく、リハを進めやすい環境です。

私の業務についてですが、個別リハでは自転車こぎを行いながら計算をはじめとした認知課題を行うコグニバイクが人気です。結果を可視化できるため、利用者様もご自身の能力を認識しやすく好評を得ています。個別・集団リハ以外には新規利用者様が初回に行う食事・入浴・排泄は、必ず動作確認を行い、介助方法・介助量および注意点等を介護職員へ情報提供しています。看護・介護職員は経験の浅い方から経験豊富な方まで多岐にわたるため、各個人が理解しているか確認しながら、情報提供しています。また、日々のレクリエーションや行事レクリエーションにおいて、安全に行えるよう介護職員と協力しています。介護職員は利用者様に楽しんで頂くことに注視していることがあるため、リスク管理を踏まえて、安全を確保したうえで楽しんで頂けるようアドバイスしています。経験が浅く緊張した表情で利用者様と接していた職員が知識・技術を高め、徐々に自信をつけて笑顔で利用者様と接している姿を見るとやりがいを感じるとともに私自身も努力していかなければいけないと奮起させてもらい、良い刺激を受けています。また、介助方法を伝達する際は専門用語を使用しないように意識し、簡便で分かりやすく全職種・職員が誤解しないように心掛けています。60名の利用者様に対し、リハ職は私一人のため、リハ職同士で情報・意見交換をすることが出来ず、不安なことはありますが、利用者様との関わり以外に看護・介護職員からアドバイスを求められ、やりがいを感じながら業務にあたっています。

令和3年4月に当施設へ隣接する、つむぎカフェが開設しました。利用者様の誕生日会や季節のレクリエーションでおいしいパンやケーキを提供してもらっています。その際、安全に召し上がって頂けるよう、認知機能・嚥下機能等を踏まえ、利用者様ごとに召し上がる食品を選定し、安全を確保したうえで寛ぎの時間を提供できればと考えています。また、天候の良い日にはカフェの庭で屋外歩行練習を兼ねた散策を行い、心身ともにリフレッシュして頂いています。コロナ禍の影響により外部の方のご利用は控えさせて頂いていますが、毎月限定イベントを実施しています。クロワッサンや季節限定パン等を取り揃えていますので、よろしかったら是非、遊びに来てくださいね。

後輩理学療法士へ

脳血管研究所 附属美原記念病院

清水 葵



新人理学療法士の皆様こんにちは。

脳血管研究所 美原記念病院の回復期病棟に勤めている理学療法士清水葵です。お勤めには慣れてきましたでしょうか。この約2年間は新型コロナウイルスによる影響で、病院や施設などでは感染の対策・対応をとられ大変な状況だったと思います。多くの方々が多かれ少なかれ影響を受けたのではないかと思います。私が勤務している病院でも面会制限がとられ、患者さんと家族の面会はもちろん、家族指導や家屋訪問などの機会やスタッフが家族と接触出来る機会も制限がありました。

当院が対象としている患者様は、大半の方が脳卒中を発症した方となっています。脳卒中後遺症が残存している中でリハビリを行い、自宅復帰を目指しています。もちろん、脳卒中は急に発症するものなので、本人・家族が現状を受け入れられていない方もいらっしゃいますし、症状や家族背景・環境によっては、自宅転帰がかなわない方もいらっしゃいます。また、私事ではありますが私の祖母もコロナ渦で脳梗塞を発症し、都内の他病院に入院しました。家族は会いたくても会えないですし、状況も知りたくてもよく分かりません。

そのような状況の中で、私自身感じたことがあります。関わっている患者さまは、どなたかの大切な家族です。我々にとって、仕事ではありますが、人を相手にする仕事なので相手に対する思いやりの気持ちや優しさは大切です。また、私たちは家族などとは違う第三者のスタッフであることに加えてリハビリスタッフとして関わり、患者さまの身体・動作能力を理解しているからこそ、患者様の率直な気持ちは聞きやすい立場であります。私たちの関わり・介入次第でその後の家族の行方が大きく影響する可能性があります。患者様とラポールを形成し、本音が聞けて、その後の生活に良い選択肢を提示出来る理学療法士を目指して頂けたら嬉しく思います。私自身も未熟な点も多く、まだまだ技術的にも精神的にも足りない点も多々あります。成長も上限がないため、経験や学習はいつまでも足りないですし、他人と比較してしまうと劣等感を感じる時もあります。そんな時は昔の自分自身と比べて、以前出来なかったことや分からなかったことが今できるようになったなら良しとして、自分を褒めてあげてください。

コロナウィルスのお陰で、直接他者と接する機会は減少しましたが、お陰でオンラインでの勉強会や交流が盛んとなり、前向きに考えると以前よりも多くの方から学べる機会も多くなったように感じます。一緒にこれからの理学療法士人生を頑張っていきましょう。新人理学療法士皆様の成長を応援しています。



研修会報告

令和3年度地域リハビリ推進部研究会 開催

令和3年11月21日(日)に、地域リハビリ推進部による「ICTを活かした地域リハビリ」をテーマとしたWEB研修が開催されました。おゆみの中央病院川村悠先生の研修では感染症拡大の中で外での活動やふれあいが減少する中、高齢者の生活においてもICTを活用することで豊かな生活を目指す。活用するために情報提供や使用方法を伝えることの大切さを学びました。日高デイトレセンター小野沢浩先生の研修ではリハビリの見える化ということでデータを用いた通所リハビリの展開やICTを用いた管理方法などを学びました。利用者様との関わりの中で活用できるヒントが散りばめられた有意義な研修となりました。

令和3年度介護保険部主催研修会 開催

令和3年11月28日(日)、オンラインにて介護保険部主催研修会が開催されました。研修会では、玉村町 健康福祉課高齢政策係 齋藤道子さん、渋川市 介護保険課 中川有希さん、前橋市社会福祉協議会 堀口智也さんにより、それぞれの地域で実施している介護予防事業について、ご講義いただきました。実際に行っている地域での予防事業を知ることで、自身の地域における介護予防事業を再度考え直すよいきっかけになったと思います。また介護予防事業の重要性を強く感じました。



第5回北毛ブロック 施設間連絡会 開催

令和3年12月10日(金)、オンラインにて北毛ブロック 施設間連絡会が開催されました。研修会の前半では、高崎健康福祉大学 篠原智行先生より、指定規則改定に伴う卒前教育の変化と新型コロナウイルス感染症の影響について、ご講義いただきました。指定規則改定の内容や、コロナ渦における卒前教育の実態を知り、コロナ渦における卒前教育実施の難しさと現場スタッフの協力の重要性を教えてくださいました。



研修会後半では、コロナ渦における卒前教育の実際について、参加者によるグループワークが行われました。実際の各病院・施設における卒前教育の実施状況や、指導方法などが話し合われ、各病院・施設における卒前教育の実際を知る貴重な機会となりました。

第 30 回群馬神経系理学療法学会 開催

令和3年12月11日(土)、オンラインにて第30回群馬神経系理学療法学会が開催されました。時計台記念病院 渡辺智也先生、美原記念病院 奥田悠太先生、日高リハビリテーション病院 生方雅人先生より、バランス障害に対する理学療法について、ご講義いただきました。整形疾患・脳卒中・神経難病により、バランス障害をきたした症例の臨床の思考過程から今後の課題までが明確に提示されており、患者の観察・評価から病態を推定するための手続きを学ばせていただきました。質の高い症例検討を行うためには、普段の臨床の取り組みが如何に大切であるか気づくよい機会となりました。

第 13 回群馬県内部障害系理学療法研究会 開催

令和3年12月19日(日)、オンラインにて、第13回群馬県内部障害系理学療法研究会が開催されました。公立藤岡総合病院 馬場健太先生により「呼吸の基礎的知識」、茨城県立医療大学 瀬高裕佳子先生により、「咳嗽リハビリテーションー随意咳嗽の評価・ケアー」について、ご講義いただきました。呼吸の基礎知識から評価・介入方法まで、一連の流れをわかりやすくご講義いただき、再度呼吸の評価の重要性やその方法を知る良い機会となりました。

会員動向

令和4年1月19日現在

会員数 2,145 名（勤務先会員 1,910 名、自宅会員 235）、休会 220 名、施設数 319 施設

ニュース収受

2021/10/29	JPTA NEWS 2021. 10 Vol.333 理学療法学 2021 Vol. 48 No. 5	日本理学療法士協会
2021/10/29	40 周年記念誌	佐賀県理学療法士会
2021/10/29	広報誌「かくどけい」Vol. 137 2021OCTOBER	熊本県理学療法士協会
2021/11/01	希望の家だより Vol. 207	希望の家
2021/11/05	年報 第 41 号	群馬県スポーツ協会
2021/11/05	大阪府理学療法士会ニュース 第 288 号	大阪府理学療法士会
2021/11/09	愛知県理学療法士会ニュース 2021. 11	愛知県理学療法士会
2021/11/15	士会だより No. 192	兵庫県理学療法士会
2021/11/18	群臨技会誌 2021 Vol. 60 No. 2	群馬県臨床検査技師会
2021/11/18	第 31 回京都府理学療法士学会プログラム集	京都府理学療法士会

2021/11/22	会報 群臨技 471 号	群馬県臨床検査技師会
2021/11/22	からっ風通信 第 146 号	群馬県作業療法士会
2021/11/29	ゆまにて No. 189 号	静岡県理学療法士会
2021/12/14	群なんれん 新刊 83 号	群馬県難病団体連絡協議会
2021/12/17	ピア通信	群馬県精神障害者社会復帰協議会
2021/12/21	NOW No. 288	京都府理学療法士会
2021/12/27	広報誌「ゆきわり草」No. 197	新潟県理学療法士会
2021/12/27	JPTA NEWS 2021. 12 Vol.334	日本理学療法士協会
	理学療法学 2021 Vol. 48 No. 6	

＊ ＊ ＊ 編集後記 ＊ ＊ ＊

2022 年になり、寒い日が続いていますが、皆さんの体調はいかがでしょう。今回、初めて原稿執筆依頼や研修会の取材などを行わせていただきました。源流作成にあたり原稿執筆や研修会など、多くの方々にご協力をいただきありがとうございました。コロナ禍でも、各部会の先生方のおかげで、オンラインで研修や学会に参加ができることを非常に感謝いたします。

源流の作成に携わらせていただいたことで、あまり知識のない分野の研修会に参加することができ、知識の幅が広がったと感じています。今後も原作作成のためだけではなく、いろいろな分野の研修会に参加しようと思っています。

嶋崎 健一